

**JASDAQ**

平成 20 年 7 月 31 日

各 位

会 社 名 東 新 住 建 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 深 川 堅 治
(JASDAQ・コード1754)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 常 務 取 締 役 中 島 義 之
經 営 推 進 本 部 長
電 話 0 5 8 7 - 2 3 - 0 0 1 1

平成 20 年 6 月 期 通 期 (連 結 ・ 個 別) 業 績 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

平成20年6月期通期(平成19年7月1日～平成20年6月30日)の業績予想につきまして、平成20年5月9日付当社「平成20年6月期通期(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成20年6月期通期連結業績予想数値の修正(平成19年7月1日～平成20年6月30日)

(単位:百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	102,000	1,870	700	170
今 回 修 正 予 想 (B)	98,347	1,432	419	337
増 減 額 (B - A)	3,653	438	281	167
増 減 率 (%)	3.6	23.4	40.1	98.2
(ご参考) 前 期 実 績 (平 成 19 年 6 月 期)	104,467	1,985	954	267

2. 平成20年6月期通期個別業績予想数値の修正(平成19年7月1日～平成20年6月30日)

(単位:百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	92,400	1,570	400	120
今 回 修 正 予 想 (B)	86,391	969	314	202
増 減 額 (B - A)	6,009	601	86	82
増 減 率 (%)	6.5	38.3	21.5	68.3
(ご参考) 前 期 実 績 (平 成 19 年 6 月 期)	94,988	2,235	1,159	425

3. 修正の理由

当期においては、平成 19 年 6 月に改正建築基準法が施行された影響により、新設住宅着工戸数も大幅に減少するなど、住宅業界は低調に推移いたしました。また、原油価格の高騰、米国で発生したサブプライムローン問題に端を発する金融市場の混乱等先行き不安が広がる中、個人消費についても停滞するなど、厳しい状況で推移いたしました。

このような市場環境のなかで、当社グループは通期業績の達成に向けて様々な改革を進めてまいりました。しかし、市場環境の停滞が長引き、住宅市場の回復が前回予想時に想定した以上に遅れているため、通期業績としましては、売上高、営業利益、経常利益に関して平成 20 年 5 月 9 日に公表いたしました平成 20 年 6 月期(連結・個別)業績予想を下回る見通しとなりました。

売上高は、上記で記載しております市場環境の影響が長引き、5、6 月における分譲不動産販売事業の売上が前回予想よりも減少し、その結果前回予想を下回る見通しであります。

利益面につきましては、期中から進めてきた新商品の開発や生産体制の改革などの様々な対策により、第 4 四半期において利益率が大幅に改善しました。しかしながら在庫商品の値引等により相殺される形となり、改善効果が最大限に得られるのは翌期以降にずれ込む見通しとなりました。

一方で販売費及び一般管理費については、採用の抑制及び業務の効率化を推進することにより削減いたしました。営業利益、経常利益は前回予想を下回る見通しであります。

また、関連子会社の収益が改善されたことや、業務効率を高めるための事業展開見直しを進め、子会社同士の合併等を行いました。それに伴い、引継いだ繰越欠損金に対する繰延税金資産を計上したことにより、当期純利益につきましては、前回予想を上回る見通しであります。

個別業績につきましても、上記と同様の理由により、当期純利益は前回予想を上回るものの、売上高、営業利益、経常利益において前回予想を下回る見通しとなりました。

なお、期末配当につきましては、当社は、継続的かつ安定的に実施することを基本方針としており、当初予定通り 1 株当たり 15 円を予定しております。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上